

唱しやう 礼らい (朝のおつとめと同じ)

開かい 經きやう 偈げ

無む上じやう甚じん深じん微み妙みやう法ほう。

百ひやく千せん万まん劫ごう難なん遭そう遇ぐう。

我が今こん見けん聞もん得とく受じゆ持じ。

願がん解げ如に来らい真しん実じつ義ぎ。

※次のようにお唱えしてもよい。

むじようじんじんみみようのほうは ひやくせんまんごうにもあいおうことかたし
われいまけんもんしじゆじすることをおえたり ねがわくはによらいしんじつのぎをげせん

懺さん 悔げ 文もん

我が昔しやく所しよ造ぞう諸しよ惡あく業ごう。

皆かい由ゆう無む始し貪とん瞋じん痴ち。

從じゆう身しん口く意い之し所しよ生しやう。

一いつ切さい我が今こん皆かい懺さん悔げ。

三 歸 札 文

自歸依じきえ仏ぶつ。 当願衆生とうがんしゅじょう。 体解たいげ大道だいどう。 發無上意ほつむじょうい。

自歸依じきえ法ほう。 当願衆生とうがんしゅじょう。 深入じんにゆう經藏きやうぞう。 智慧ちえ如海にょかい。

自歸依じきえ僧そう。 当願衆生とうがんしゅじょう。 統理とうり大衆だいしゅう。 一切無礙いっさいむいげい。

※次のようにお唱えしてもよい。

自らみづか仏ぼんに歸依きえしたてまつる。 当まさに願ねがわくは衆生しゅじきと共に、 大道だいどうを体解たいげして、 無上意むじょういを發おこさん。

自らみづか法ほうに歸依きえしたてまつる。 当まさに願ねがわくは衆生しゅじきと共に、 深ふかく經藏きやうぞうに入いりて、 智慧ちえうみ海この如ごとくならん。

自らみづか僧そうに歸依きえしたてまつる。 当まさに願ねがわくは衆生しゅじきと共に、 大衆だいしゅうを統理とうりして、 一切無礙いっさいむげならん。

三 尊 札 文

南無なむ大恩だいおん教主きやうしゆほん本師ほんし釈迦しやくか牟尼むに仏ぶつ。 南無なむ高祖かうそ承陽じやうやう

大師だいし。 南無なむ太たい祖そ常じやう濟さい大師だいし。 南無なむ大慈だいじ大悲だいひ哀あい愍みん

授受しやうじゆ。 生々しやうしやう世々せせ值遇ちぐう頂戴ちやうだい。

※この後の読経は、修証義の第一章（次の日は第二章、次の日は第三章等）

妙法蓮華經觀世音菩薩普門品偈、妙法蓮華經如來壽量品偈等を、時に従つて

適宜に選んでお唱えします。

普回向

願わくは此の功德を以て、普く一切に及ぼし、
我等と衆生と、皆共に仏道を成ぜんことを。

十方三世一切仏。諸尊菩薩摩訶薩。摩訶般若
波羅蜜。

四弘誓願文

衆生無辺誓願度。
法門無量誓願學。

煩惱無尽誓願斷。
仏道無上誓願成。